

新年



大館市長
小畑 元

市民の皆様にご挨拶。市民の皆様様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は、まさに記憶に残る1年でした。8月9日の「これまでに経験したことのないような大雨」、9月の「台風18号による大雨」が市内各所に甚大な被害を及ぼしました。市では被災者救済に向け、速やかに各種の支援策を講じましたが、今なお災害の傷跡は深く、不眠不休で復旧作業に取り組んでいるところです。近年、局地的な大雨が全国各地で頻発しており、従来とは違う視点に立った危機管理が喫緊の課題と考えています。

一方、日本海沿岸東北自動車道大館北ICと小坂JCT間が11月30日に開通しました。暮らしの安全安心、地域経済の活性化、観光の振興等に寄与するものと多くの期待を寄せています。平成24年に続き25年も記録的な数の企業の進出、工場の新・増設が見られ、市が直面している人口減少、高齢化、財源確保の問題解決に不可欠な安定した雇用を創出できたことを大変喜ばしく思います。1日も早い日沿道の全線開通を関係各所に働きかけるとともに、更なる民間投資を誘発するための受け皿とな

る二井田地区、釈迦内地区の工業団地の拡張・造成を行います。

今年、芸術分野の全国トップレベルの団体、個人が一堂に会する第29回国民文化祭が秋田県を会場に開催されます。市内では「マーチングバンド・バトントワーリングの祭典」等を予定しており、県内外に大館市の魅力を発信します。

市の基幹産業である農業については、TPP(環太平洋パートナーシップ)の行方を注視するとともに、国のコメ政策の大転換を前提に、農地の集積を加速させ、農村・農家を守り、強い農業を確立するための対策を進めます。

また、進行する高齢化を念頭にした地域医療体制、生活路線バスの運行維持等の交通システム整備や御成町南地区土地区画整理、市営住宅の再編等の中心市街地再生、学校施設の耐震化、3R推進プラザの整備等の事業についても全力を尽くしますので、皆様のご支援・ご協力をよろしく願います。

結びに、市民の皆様にとりまして本年が幸多い年となりますよう心から願い、年頭のごあいさつとします。